



看護必要度ステップアップ研修に行ってきました

平成 26 年度診療報酬改定に伴い、急性期病床における患者像を適切に評価するために、「重症度・看護必要度」という名称が「重症度、医療・看護必要度」と変更されます。また、評価の視点として、特に療養病棟の患者において該当率の高い項目や、項目に該当する患者像が本来評価すべき患者像と乖離している項目について見直しがされました。

- ・削除項目：血圧測定、時間尿測定
- ・追加項目：麻薬の内服・貼付、抗悪性腫瘍剤の内服、抗血栓塞栓薬の持続点滴
- ・定義の見直し：創傷処置＝褥瘡発生状況を把握するため、褥瘡処置とそれ以外の手術等の縫合部等の処置を分ける
呼吸ケア＝喀痰吸引を削除する

来年度は、項目、定義の見直しに伴う研修会を開催します。同時に、看護必要度の「評価の根拠が見える記録」に関しても取り組んでいきますので、ご協力をお願いします。



日本静脈経腸栄養学会

2/27～2/28 に横浜で開催された日本静脈経腸栄養学会に参加しました。メインテーマを「志学創新」とし、サーベイランス、脂質メディエーター、サルコペニア等のテーマに焦点を絞り、他にも多彩なテーマで講演やシンポジウム、パネルディスカッションなどが行われました。

サルコペニア（加齢性筋肉減少症）は、高齢者の身体機能障害リスク因子として注目されています。この病態は、栄養障害や虚弱とも関連が強く、栄養評価を適切に行い介入することで、サルコペニアにいたるプロセスを少しでも遅らせることが大切となります。24 時間患者のそばでケアをする看護師は、栄養評価が適切に行えるよう、知識の習得及びフィジカルアセスメントを行えることが求められます。NST リンクナースとして、病棟での栄養評価を適切に行えるよう、活動していきたいと思ひます。



一年間原稿を書いて下さった方々、ご協力していただき本当にありがとうございました。

来年度もよろしくお願ひいたします。



看護サービス向上委員より



もちもち★もちべーしょんあつぱ 『サービスの神様』

無条件に笑い合える場所、誰かのためにやさしくできる時間、そんな「人と人が作り出す大切な宝物」を必要ないと思ったり、ファンタジーの世界でしかないと言い切る人などいない。この本には誰かのために魔法のような「特別な存在」になるヒントがみついています。

マニュアルは大切ですがそれを超えた看護サービス(おもてなし)が実践できれば『サービスの神様』に微笑んでもらえるような看護師になれるでしょう。

鎌田 洋著
「ディズニー サービスの神様が
教えてくれたこと」より

【平成 26 年度 看護部基本方針】

1. 「心通じ合う看護」: 患者と家族に寄り添うパートナーシップ
2. 「専門性の発揮」: 看護の専門的知識と技術の向上を図り、安全で信頼される看護の提供
3. 「地域と共に歩む看護」: 地域との連携、勤労者看護の推進

【求める看護師像】

1. 心身ともに健康で、明るい看護師
2. 自ら学び続け、自己実現できる看護師
3. 思いやりがあり、気配りができる看護師

